

高林龍・三村量一・上野達弘編
『年報知的財産法 2020-2021』（2020年12月刊）
ISBN978-4-535-00527-3 第1版第1刷

お詫びして下記のとおり訂正いたします。

1. 「I 米国における知財の動き」「2 著作権法」「(1)最高裁判決」として解説した「(i)Google v. Oracle」事件（210～212頁）について、担当執筆者の寺澤幸裕氏が最高裁に提出された当事者の書面を判決書と誤認して最高裁判決として執筆したことが判明しました。重大な事実の誤りであり、お詫びして、この裁判の下の解説部分を全面削除させていただきます。

211頁左段15行目～212頁右段下から13行目

（誤）(i) Google v. Oracle (U.S. 2020) ～ 適用されないと判断したのである。

（正）削除（この裁判に関する解説のすべてを削除）

2. 1の削除に伴い、下の記述も削除します。

210頁右段下から2行目

211頁左段10行目

（誤）2つの

（正）削除

210頁右段下から2行目～211頁左段9行目

（誤）特に Google v. Oracle 事件は～非常に注目を集めていた裁判である。そこで、

（正）削除